

# 「てん店まっぷ」が入賞

ジャパン・ツーリズム・アワード

## 町歩きでにぎわい創出図る

宮城県の南三陸町地域観光復興協議会が2013年から毎年発行してきた「南三陸てん店まっぷ」が、「第4回ジャパン・ツーリズム・アワード 国内・訪日領域地域部門」で入賞した。同賞は国内外の団体、企業の観光に関する取り組みを表彰する。

東日本大震災後、被災した商店や宿泊施設などは町の各地に場所を移して営



「南三陸てん店まっぷ」を手掛けた阿部さん(中央)とホテルスタッフ

業を再開したが、それを広く周知する手立てがないのが悩みだった。中心となってマップを作った南三陸ホテル観光のおかみの阿部憲子さんは「商店街など目立つ所ではなく、メディアに注目されにくい場所で再開した店にスポットを当てようと、マップを作った」と語る。

マップには約70店が掲載されている。掲載店を巡ってスタンプを集めた人には景品を渡すという町歩きを促進する取り組みが、商店街以外の場所のにぎわい創出に一役買った。観光客が町内を巡るときに使うのはもちろん、町民にとっては

阿部さんは「マップには訪れた場所のスタンプがたまるので、それを見るとお客さんがこれまでどこを巡ってきたのかが分かる。『あそこの店長さんは元気だった?』といった何気ない会話ができて、お客さんとスタッフのコミュニケーションのきっかけになる」と笑顔を見せる。

人と人を結ぶ取り組みが評価され、過去に「観光王国みやぎおもてなし大賞」などにも輝いたこのマップは、今後も年度ごとに内容を更新しながら最新版を発行する予定。同ホテルのほか、掲載店や宮城県庁などで無料配布している。

震災後の商店などの情報が詰まった電話帳として活用されている。

連絡先は南三陸ホテル観光 0226(46)2442。